資金収支計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日

（単位：円）

収入の部	
科目	金額
学生生徒等納付金収入	315,379,000
手数料収入	5,806,200
補助金収入	9,475,000
付随事業・収益事業収入	441,627
受取利息・配当金収入	411
雑収入	8,175,809
前受金収入	256,350,000
その他の収入	119,780,063
資金収入調整勘定	△ 296,275,700
前年度繰越支払資金	556,281,746
収入の部合計	975,414,156

支出の部	
科目	金額
人件費支出	135,597,133
経費支出	89,545,091
施設関係支出	86,746,000
設備関係支出	0
資産運用支出	360,000
その他の支出	116,630,039
資金支出調整勘定	△ 3,063,406
翌年度繰越支払資金	549,599,299
支出の部合計	975,414,156

事業活動収支計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日

（単位：円）

		科目	金額
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	315,379,000
		手数料	5,806,200
		経常費等補助金	9,475,000
		付随事業収入	441,627
		雑収入	8,175,809
		教育活動収入計	339,277,636
	事業活動支出の部	人件費	135,957,133
		経費	137,751,842
		徴収不能額等	0
		教育活動支出計	273,708,975
		教育活動収支差額	65,568,661
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	411
		その他の教育活動外収入	0
		教育活動外収入計	411
	事業活動支出の部	借入金等利息	0
		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出計	0
		教育活動外収支差額	411
		経常収支差額	65,569,072
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0
		その他の特別収入	0
		特別収入計	0
	事業活動支出の部	資産処分差額	0
		その他の特別支出	0
		特別支出計	0
		特別収支差額	0
基本金組入前当年度収支差額			65,569,072
基本金組入額合計			△ 86,746,000
当年度収支差額			△ 21,176,928
前年度繰越収支差額			△ 942,702,553
基本金取崩額			0
翌年度繰越収支差額			△ 963,879,481

（参考）

事業活動収入計（旧）帰属収入	339,278,047
事業活動支出計（旧）消費支出	273,708,975

貸借対照表

令和6年3月31日

（単位：円）

資産の部	
科目	金額
固定資産	1,657,413,520
流動資産	560,992,668
資産の部合計	2,218,406,188

負債の部	
科目	金額
固定負債	1,932,640
流動負債	327,762,501
負債の部合計	329,695,141
純資産の部	
科目	金額
基本金	2,852,590,528
繰越収支差額	△ 963,879,481
純資産の部合計	1,888,711,047
負債及び純資産の部合計	2,218,406,188

財　産　目　録

令和6年3月31日 現在

Ⅰ 資産総額	**2,218,406,188 円**
内　基本財産	1,657,413,520 円
運用財産	560,992,668 円
Ⅱ 負債総額	**329,695,141 円**
Ⅲ 正味財産	**1,888,711,047 円**

区　　分	金　　額
〔1〕資　産	
1.基本財産	**1,657,413,520 円**
①土地	366,251,672 円
②建物	1,250,110,442 円
③構築物	482,812 円
④管理用機器備品	7,758,015 円
⑤教育研究用機器備品	30,231,409 円
⑥車輌	4 円
⑦退職給与引当特定資産	1,932,640 円
⑧ソフトウェア	4 円
⑨電話加入権	246,522 円
⑩長期貸付金	400,000 円
2.運用財産	**560,992,668 円**
①現金、預金	549,599,299 円
②未収入金	9,359,000 円
③立替金	721,480 円
④前払金	1,312,889 円
【資産総額】	**2,218,406,188 円**
〔2〕負　債	
1.固定負債	**1,932,640 円**
①退職給与引当金	1,932,640 円
2.流動負債	**327,762,501 円**
①前受金	256,350,000 円
②預り金	71,412,501 円
【負債総額】	**329,695,141 円**
【正味財産】（資産総額−負債総額）	**1,888,711,047 円**

事業報告書

（令和 5 年度）

学校法人　群馬県美容学園

Ⅰ．法人の概要

（1）建学の精神

「美しい心と技術の調和」

（2）教育目的

【群馬県美容専門学校】

「本校は学校教育法に従い、美容に必要な知識と技能を授けるとともに、豊かな人間性を備えた人材の育成を目的とする。」

【ウェディング・ホテル＆ツーリズム専門学校】

「本校は、学校教育法に従い、冠婚葬祭業、観光業、宿泊業、またこれらを取り巻くサービス業界などに必要な専門知識と実践的な技能を授けるとともに、豊かな人間性を備えた人材の育成を目的とする。」

【アーツ サウンド ビジュアル専門学校】

「本校は、学校教育法に従い、優れた専門性と豊かな創造性を教育の基本理念とし、文化・芸術・舞台・音響・照明・ビジュアル分野に必要な知識と技能を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、社会に貢献し得る人材の育成を目的とする。」

（3）教育目標

【群馬県美容専門学校】

⑴ 教養高く、知識、技能に優れ、次の世代を担う社会人としての美容技術者の育成
⑵ 科学的知識に加えて、自らの創意工夫により技術や感覚を養う能力の育成
⑶ お互いに尊重しながら、同じ目標に向かって努力する力の育成

【ウェディング・ホテル＆ツーリズム専門学校】

⑴ 教養高く、知識、技能に優れ、次の世代を担う社会人の育成
⑵ 自ら創意工夫する能力の育成
⑶ お互いに尊重しながら、同じ目標に向かって努力する力の育成

【アーツ サウンド ビジュアル専門学校】

⑴ 教養高く、知識、技能に優れ、次の世代を担う社会人としての専門職業人の養成
⑵ 科学的知識に加えて、自らの創意工夫により技術や感覚を養う能力の育成
⑶ お互いに尊重しながら、同じ目標に向かって努力する力の育成

１．教養高く、知識、技能に優れ、次の世代を担う社会人の養成
２．科学的知識に加えて、自らの創意工夫により技術や感覚を養う能力の育成
３．お互いに尊重しながら、同じ目標に向かって努力する力の育成

（４）校訓

【群馬県美容専門学校】

こころ（Heart)、技（Hand)、知（Head）の「３Ｈの法則」

１．心：「ホスピタリティ力、コミュニケーション力、協働力」のある人材の養成。

２．技：「美しく（ビューティフル)、可愛いく（チャーミング)、華やか（ゴージャス)」を「正確に、手早く」表現できる人材の養成。

３．知：「専門知識、教養、企画力」ある人材の養成。

３Ｈ（心・技・知）を均等な大きさに培うことで夢や希望に近づき、社会に貢献できる。

【ウェディング・ホテル＆ツーリズム専門学校】

Heart（まごころ)、Head（知識)、Hand（技能、所作）の「３Ｈの法則」

１．Heart(まごころ)　：「ホスピタリティマインド、コミュニケーション力、チームワーク」がある人財の育成。

２．Head(知識)　　：「教養、専門知識、ビジネス能力」がある人財の育成。

３．Hand(技能、所作)：美しく、可愛く、華やかさを正確にスピーディーに表現できる人財の育成。

※「人財」造語：才能があり、役に立ち、必要とされる貴重な財産となる人

３Ｈ（まごころ・知識・技能、所作）をバランス良く学ぶことで、総合力が身につき、社会に貢献できる有用な人財になれるという法則です。

【アーツ サウンド ビジュアル専門学校】

３Ｈの法則（バランスの取れた３つのＨを備えた人材の育成）

Heart：「ホスピタリティマインド、コミュニケーション能力、チームワーク」まごころ

Hand：「安全、正確、スピーディ」所作

Head：「教養、専門知識、ビジネス感覚」知識

３Ｈの法則（バランスの取れた３つのＨを備えた人材の育成）

Heart：「ホスピタリティマインド、コミュニケーション能力、チームワーク」まごころ

Hand：「安全、正確、スピーディ」所作

Head：「教養、専門知識、ビジネス感覚」知識

（５）学園、学校の沿革

昭和２９年　　財団法人　群馬県高等理容美容学校設立認可

昭和３３年　　財団法人　群馬県高等美容学校設立認可

各種学校群馬県知事認可

財団法人　群馬県高等美容学校厚生大臣指定認可

【定員　　昼間 100 名　　通信 200 名】
昭和４２年　　財団法人　群馬県高等美容学校厚生大臣定員指定
【定員　　昼間 200 名　　通信 400 名】
昭和５６年　　財団法人　群馬県美容高等専修学校設置　群馬県知事認可
【定員　美容高等課程 200 名　　別科 400 名】
平成　９年　　学校法人群馬県美容学園設立
平成１０年　　群馬県美容専門学校　群馬県知事認可
【定員　美容専門課程 400 名　別科 240 名】
厚生大臣指定養成課程及び定員指定
【定員　昼間課程 400 名　通信課程 240 名】
平成１１年　　群馬県美容専門学校　現在地に新校舎移転
平成２０年　　群馬県美容専門学校　新学科設置
トータルビューティー科　【定員　女子 120 名】
新学科設置に伴い校舎およびホール増設
平成２２年　　群馬ブライダルビジネス専門学校　群馬県知事認可
ブライダルスペシャリスト学科設置　【定員　商業実務専門課程 80 名】
平成２３年　　群馬県美容専門学校　新学科設置
ビューティースタイリスト学科　　【定員　男女 60 名】
エステティック学科　　【定員　女子 60 名】
平成２８年　　群馬県美容専門学校　新学科設置
ビューティテクニカル学科　【定員　男女 40 名】
平成２８年　　アーツ サウンド ビジュアル専門学校　群馬県知事認可
文化･教養専門課程　　舞台音響照明学科　【定員　男女 40 名】
ビジュアル・サウンド学科　【定員　男女 40 名】
ライブ･イベント学科　【定員　男女 40 名】
平成２９年　　群馬県美容専門学校　新学科設置
サスーン スクールシップ ヘアスタイリスト学科　【定員　男女 80 名】
群馬ブライダルビジネス専門学校　新学科設置
ホテル・旅館・リゾート学科　【定員　男女 20 名】
トラベル・ハネムーン学科【定員　男女 20 名】
ブライダルスペシャリスト学科をブライダル・ウエディング学科に名称変更
【定員　男女 40 名】
アーツ サウンド ビジュアル専門学校　開校
平成３０年　　群馬県美容専門学校　新学科設置
理容修得者課程　理容修得者学科　【定員　男女 20 名】
群馬ブライダルビジネス専門学校
ウェディング・ホテル＆ツーリズム専門学校に 4 月校名変更
平成３１年/令和元年
ウェディング・ホテル＆ツーリズム専門学校　移転
ブライダル・ウエディング学科をウェディングプランナー学科に名称変更

新学科設置　葬祭ディレクター学科【定員　男女 20 名】
アーツ サウンド ビジュアル専門学校
ASV ライブハウス＆シューティングスタジオ新設
令和２年　ウェディング・ホテル＆ツーリズム専門学校　新学科設置
ウェディングスタイリスト学科　【定員　男女 20 名】
令和３年　ウェディング・ホテル＆ツーリズム専門学校
ウェディングプランナー学科をホスピタリティマネジメント学科に名称変更
【定員　男女 80 名】
令和４年　アーツ サウンド ビジュアル専門学校
舞台音響照明学科をエンターテインメント学科に名称変更【定員　男女 80 名】

（６）設置する学校、課程、学科等

【群馬県美容専門学校】
所在地：　〒371-0006　群馬県前橋市石関町 136-1
代表者：　理事長　松本一郎　　校長　町田仁一
課程等：　美容専門課程　美容師学科　2 年制
サスーン スクールシップ ヘアスタイリスト学科　2 年制
ビューティスタイリスト学科　2 年制

【ウェディング・ホテル＆ツーリズム専門学校】
所在地：　〒371-0006　群馬県前橋市石関町 136-1
代表者：　理事長　松本一郎　　校長　町田仁一
課程等：　商業実務専門課程　　ホスピタリティマネジメント学科　2 年制

【アーツ サウンド ビジュアル専門学校】
所在地：　〒371-0006　群馬県前橋市石関町 136-1
代表者：　理事長　松本一郎　　校長　町田仁一
課程等：　文化・教養専門課程　エンターテインメント学科　2 年制

（７）学生数状況

学科名、入学定員数、入学者数、在学総数

【群馬県美容専門学校】

R5.5.1 現在

学科名	入学定員	入学者数	在学総数
美容師学科	100 名	85 名	155 名
サスーン スクールシップ ヘアスタイリスト学科	20 名	0 名	10 名
ビューティスタイリスト学科	40 名	14 名	26 名

【ウェディング・ホテル＆ツーリズム専門学校】

R5.5.1 現在

学科名	入学定員	入学者数	在学総数
ホスピタリティマネジメント学科	40 名	0 名	11 名

【アーツ サウンド ビジュアル専門学校】

R5.5.1 現在

学科名	入学定員	入学者数	在学総数
エンターテインメント学科	40 名	33 名	52 名

（7）役員の概要

R5.6.1 現在

区　分	氏　　名	任　期 年月～年月	学外者
理 事 長	松本　一郎	令3.6 ～令6.5	○
副理事長	富岡　町子	〃	○
専務理事	金杉　幸彦	〃	○
理　　事	石川　實	〃	○
	羽鳥　みどり	〃	○
	井上　和茂	〃	○
	下田アイ子	〃	○
	長谷川　一二	〃	○
	大澤　芳雄	〃	○
	鈴木　浩二	〃	○
	上岡　克明	〃	○
	菊池　孝幸	〃	○
	新井　俊次	〃	○
	佐藤　満男	〃	○
	大島　三男	〃	○
	金子　好雄	〃	○
	堀口　達也	〃	○
	町田　仁一	〃	
	黛　博美	〃	○
	立川　弘一	〃	○
	石田　榮男	〃	○

（8）教職員の概要

R5.5.1 現在

校長	事務 局長	副校長	教務 課長	教員 (専任)	教員 (兼任)	広報	事務員	合計
1 名	1 名	1 名	3 名	11 名	38 名	2 名 (内 2 名 兼務)	2 名	57 名

Ⅱ．事業の概要

（1） 事業の概要

本学園は、平成 9 年に学校法人を設立してから 27 年が経過いたしました。群馬県美容専門学校 1 校からスタートし、現在ではウェディング・ホテル＆ツーリズム専門学校、アーツ サウンド ビジュアル専門学校の 2 校も設置し 3 校を有しています。本学園の建学の精神を教育目標として、各校の関係業界と社会に貢献できるよう、専門知識と実践的な技能を授けるとともに、豊かな人間性を備えた人材の育成に努めております。

（2） 主な事業の目的・計画

①教育活動に関する計画指針

◆カリキュラム策定

美容師養成施設指定規則又は、専修学校設置基準に従い、適正な時間割を作成する。さらに美容業界、ブライダル業界、舞台・音響・照明・映像関係業界からの人材ニーズを把握した適正な時間割を作成し運営を行う。また、全学科ともに最新の技術やニーズに対応し、定期的に教育計画全体の見直しを行う。

◆授業の評価と改善

年間授業計画（シラバス）を作成し、その内容に沿って授業を進める。

授業内容は、科目ごとに学生からの評価アンケート調査を実施して授業改善に努める。

◆国家資格、公的資格、民間資格及び検定

美容師学科・サスーンスクールシップヘアスタイリスト学科では、2 年後の美容師国家試験受験に向けて、組織的・体系的に指導を行って合格率 100%を目指す。また、全学・全学科で美容系・ビジネス系・教養系・技術系の公的資格、民間資格及び検定についても正課授業のほか課外授業を設け支援・指導する。

◆教員

教員のスキル基準を規定し、定期的に評価する。習熟教員あるいは外部講師により専門技術分野に応じた技術向上の研修及び教師力・指導力の教示向上の研修を行い、研修機関等へ派遣するなど資質の向上を図る。

◆コンクールへの参加

群馬県美容専門学校では、日頃の教育効果を披露し、学生に技術に対する自信と社会参加による喜びを与え、美容に携わるものの心構えを学ぶため、美容コンクールの見学をさせ、積極的に参加もさせる。

さらに、ロンドンのサスーンアカデミーとの提携（サスーンスクールシップ　県内一校）により、サスーンの技術の導入はもちろん、サスーン主催のコンクール出場も目指す。

（群馬県美容技術大会　学生の部、全国理容美容学生技術大会、日本美容技術振興センター主催コンペティション、サスーンスクールシップ　スチューデントカットコンテスト、全国理美容学校メイクアップ選手権、各種フォトコン、その他）

◆合同イベント

群馬県美容専門学校・ウェディング・ホテル＆ツーリズム専門学校・アーツ サウンド ビジュアル専門学校の三校において、学生が日頃の成果を表現する場として合同のイベント

を開催し、グループで作品を作ることにより、協力して創作する力をつけ、楽しさも経験させる。また、学外にも広報して来場していただき、すばらしい学園であることをアピールする。

◆校外研修・海外研修

学生の見聞を広め団体行動のうちに社会性を身につけさせるために、校外研修を行う。また国際感覚豊かな人材を育成するために、海外に於いて技能の研修を受け、歴史的建造物や美　術館を見学する機会を作る。

②教育効果に関する計画指針

◆資格取得率の向上

学科別に目標資格を定め、入学から卒業までの間に取得できるように長期的な計画を立て、組織的・体系的な指導を行う。

◆就職率の向上

求人情報を公開するとともに就職説明会等を実施して学生支援に万全を期す。

◆学生指導による退学率の低減

クラス担任制度により、学生一人一人の修学状況を把握・管理する。また、問題を抱える学生を早期に発見し、休退学に至るのを防止する。きめ細かい指導を行って退学率の低減に努める。

◆在校生等の社会的活動

授業の一環として特別養護老人ホームなどで美容施術によるボランティア活動や高校などでの職業教育活動、地域のスポーツやボランティア、イベント等へ積極的に参加し社会貢献を行う。

教育成果の一環として、群馬県美容専門学校では、在校生の美容技術大会への参加の奨励。3 校合同で行うショーの開催においては、各校が役割を担い演出、構成、ヘアメイク等全てを学生が手掛けることが可能で、作品発表の場を設け保護者をはじめ一般にも公開する。

③学生の支援に関する計画指針

◆生活指導

・人間形成

人格や教養は長年の経験と学習が積み重なって、形成されるものである。知性の啓発はもちろん、毎日の生活指導や接遇、介助、マナー等の授業を通して、他人を愛し尊ぶ心や、自分自身を尊ぶ心、創造を喜ぶ心を育てるとともに、社会に貢献する人間としての心構えを学ばせる。

・家庭との連携

１８歳以上の学生で、自己力で健全な生活が出来る年齢ではあるが、必要に応じて家庭との連絡や話し合いを行う。

◆学生の健康管理

学生健康管理規定及び学校保険法に基づき、年一度の健康診断による健康管理を行う。

◆学生の災害傷害

学校管理下にある場合等の不慮の事故（正課授業、学校主催の行事、学内休憩時間、課外

活動、通学、学校施設等相互間の移動、実習、通学中の損害事故）に対応した保険に加入する。

④教育環境に関する計画指針

3 校が同じ敷地で学んでいるため、校内外の施設・設備におけるメンテナンスをさらに強化し、定期的な点検等と行うことでより良い教育環境の態勢を整える。また、防災に対する体制についても、消防計画等に基づき、合同消防訓練も実施して万全を期す。

学外実習は、就業のミスマッチをなくすため、インターンシップを実施する。

教育機器を有効活用し、プロジェクター、ビデオ等の教育機器を利用し、感性の育成に、教育効果の向上に、また就職活動や最新情報の取得に有効に活用する。

⑤学生の募集と受け入れに関する計画指針

◆学生募集活動

ＷＥＢサイト、SNS、テレビ、ラジオ、ポスター、チラシ、新聞広告、看板、地域に密着した広報媒体の活用や関係業界団体にも協力を得て、学生募集を幅広く実施する。また、学校訪問も積極的に実施し、受験希望者や進路担当の先生に対して直接説明を行う。また、受験希望者へ直接説明の機会がある代理店による高等学校説明会、会場ガイダンスにも積極的に参加し募集にあたる。

◆受験状況

受験者数の変動はあるが現状としては厳しい状況が続いているため、入試の実施日程を早め各受験日程を延長する等の対策と、学生支援制度の幅を広げる等、今後一人でも多くの受験者を獲得できるよう努力していく。

◆オープンキャンパス・学校説明会・学校見学会

志望者及び保護者等に対して、カリキュラムの説明、実技体験、模擬授業、施設見学、個別指導を実施、有意義なオープンキャンパス・学校説明会・学校見学会になるよう努めていく。

◆入学試験

入学試験にあたって入学試験規定に基づき、公正な試験及び入学判定を行う。

⑥学校運営と財務に関する計画指針

◆学校運営

教育理念及び教育目標を実現するために、役職者会議を開催し、学校運営に関する事項について報告・協議を行って運営方針を決定していく。

〔運営方針〕

1 学生の主体的学習を援助し、期待される美容人として活躍ができる人格を涵養すること

2 学生に学習の到達度目標を明確に示し、必要な知識及び技術の定着を図ること

3 教員研修で得られたノウハウを、教育の現場にフィードバックし教示内容の充実を図ること

4 学校施設等を活用し、教員の技術水準の向上を図ると共に学生の技術教育に活かすこと

5 国家試験（美容師学科・サスーンスクールシップヘアスタイリスト学科）・国家検定（ウェ

ディング・ホテル＆ツーリズム専門学校・アーツ サウンド ビジュアル専門学校）の合格率目標を 100%とすること

6 学内及び学外での研究の充実を図り、学科教育での学力向上に結びつく実践的な協議を積み上げ教科指導に生かすこと

7 実践教育プログラムの充実と効率的実施を図ること

8 その他

また、各学科においても定期的に副校長・課長及び教職員会議を行って、教職員間のコミュニケーションを図り、学校運営が円滑に行われるよう連携強化を図る。

〔財務〕

私立学校法における財務情報を積極的に公開していく。

⑧法令等の遵守に関する計画指針

◆本校におけるコンプライアンス

学園本部に法律の専門家、労務の専門家を顧問として配置し、新制度や規則の制定、各種届出などの際に二重チェックを行うなど、法令等を遵守する体制を構築し、運用の適切性を検証する

◆個人情報保護の対策

すべての個人情報の取り扱いを厳密に定め、運用する。

◆自己点検・自己評価の実施

平成 17 年から自主的に自己点検・評価活動の一部である授業評価を行っていたが、公表はしていなかった。平成 20 年度からは自己点検・自己評価の実施とともに公表することも義務化されたことから、今後も積極的に公開していく。

◆学校関係者評価の実施

職業実践専門課程における学校関係者評価を実施し、本校における自己点検・自己評価に基づき関連企業の方達に学校を評価して頂く。また、これらの情報は積極的に公表していく。

（3） 主な事業の進捗状況

① 教育活動

令和５年度も学生達は多くの大会やコンテストに参加することが出来、日頃学生の勉学に対するモチベーションも向上したと感じられました。また、学生ボランティアの依頼も増え、積極的に参加し、イベント参加者や地域の方々と積極的にコミュニケーションを取る学生の姿が見受けられました。さらに、資格取得も積極的に取り組み、各校ともに多くの合格者を出すことができました。就職についても、感染対策を十分に講じた上で就職ガイダンスや企業説明会等を実施し、また学生自ら行う情報収集も積極的に促した結果、高い就職率を維持することができました。新型コロナウイルスの影響で規模を縮小し開催していた 3 校合同イベントは、感染対策を行い、通常の形で開催することが出来ました。学園 3 校の学生交流や団結力の育成、また、地域貢献としての役割も果たせるよう様々なイベントを企画し、実施して参りたいと考えております。

② 教育効果

群馬県美容専門学校は令和5年度も様々なコンクールに挑戦し優秀な成績を収めることができました。「第15回全国理容美容学生技術大会関東地区大会」では、ヘアデザイン画部門優秀賞3名、カット部門とアップスタイル部門において敢闘賞を受賞。後の全国大会では、ヘアデザイン画部門において全国1位となる金賞を受賞することができました。「第20回全国理美容学校カワイイ選手権大会」には4名の学生が出場し、全国4位となる専門学校新聞社賞を受賞。その他、各フォトコンクールにおいても入賞を果たすことができました。

学生ボランティアの依頼も増え、オープンハウスアリーナ太田の竣工式では式に参加するダンサー230名のヘアメイクを在校生全員で担当し、限られた時間の中で日頃の授業成果を発揮する姿が見受けられました。

ウェディング・ホテル＆ツーリズム専門学校では、コースごとに様々な資格取得に挑戦しております。ブライダルコーディネート技能検定3級、並びにレストランサービス技能検定3級の国家検定、葬祭ディレクター技能審査2級、ホテルビジネス実務検定3級、フォーマルスペシャリスト検定準2級、秘書検定3級、メイクアップ技能検定2級、ネイリスト技能検定3級、ジェル検定初級、認定フェイシャルエステティシャン資格等では合格率 100%を達成した他、ホテルビジネス実務検定1級、ドレスコーディネーター検定等の専門分野の資格取得に挑戦し、高い合格率を維持することができました。

また、産学連携でのインターンシップでは実践を想定したオンザジョブトレーニング実習を60時間行い、実務経験を重ね、実地見学研修ではホテルや専門式場において現役スタッフからのサービスを体験することで、ホスピタリティ業界で即戦力となれる人材教育を行っております。

就職実績でも就職率100%を達成し、星野リゾート、リゾートトラスト、テイクアンドギヴニーズ、エスクリ、一蔵、メモリード等有名企業からの就職内定をいただくことができました。

アーツ サウンド ビジュアル専門学校は、学内でのイベントだけではなく、4年ぶりにグリーンドーム前橋で開催された山人音楽祭2023、埼玉県で開催されたウィンドパレード‘23などの音楽イベントやeスポーツ大会において、音響・照明・映像・イベントスタッフとして参加することができました。校外研修として実際の現場で実務経験を積むことができ、学生ひとりひとりがそれぞれの現場での感覚を養い、将来へと繋げることができました。

　また国家検定である舞台機構調整技能士をはじめ、フルハーネス型安全帯特別講習、玉掛技能講習、低圧電気取扱業務特別教育等、安全管理を第一に考えた業界で必要とされる幅広い資格取得を目指し学んでおります。

学園3校合同イベントでは、学生自治会を中心に企画から準備、運営を行い学園祭やハロウィーンイベント、クリスマス会など大盛況のうちに終えることができました。学園3校の学生交流や団結力の育成、また地域貢献としての役割も果たせるよう今後も様々なイベントを企画し、実施して参りたいと考えております。

③ 学生の支援

全学生対象の健康診断において学生の健康管理を行っている他、メンタル面のカバーとして、個々の学生相談を各担任が定期的に行い、場合によっては保護者との連携を行いながら早期問題解決に努めた。

また、学生の災害傷害保険にも加入し、万が一の事故にも対応できる体制を整備している。

④ 教育環境

専門性の高い実習が多いため、施設・設備・機材関連が充実しており、定期的に管理・点検が行われている。防災対策に関しても、年に 1 階は避難訓練を実施し、消防計画、地震対策措置の周知徹底に努めた。海外研修やインターンシップ、校外実習などを積極的に行うことで企業実習を有効に活用し、即戦力として活躍できる人材を育成する教育環境を更に充実させていく。

⑤ 学生の募集と受け入れ

学生の受け入れ募集に関しては、令和 3 年度は前年度よりも入学者数が増加となり、入学希望者に向けた本学園 3 校の特色、目指すキャリア、学科・コース設定、学費、教材費といった点は校内オープンキャンパス、校外ガイダンスにおいても適切に理解されていると感じている。特に各学校での多彩な学科・コース設定でのカリキュラム・取得可能資格の際においては卒業後の仕事選択においても重要な事項となり、なお一層の浸透を図る必要がある。また、入学時に交わされる文書等も慎重に管理を行い、適切に取り扱っている。

⑥ 学校運営と財務

学校運営における組織の整備を行い、事業計画、情報システム化、コンプライアンス体制の構築に努めた。適時、マネジメントレビューを実施し現状確認、分析、見直し、改善を図っていく。運営組織や意思決定機能については、学生便覧に示され円滑に運営されている。また、定期的に管理者会議や教職員会議を行うことにより、教職員一同で情報の共有化を図り、学生や保護者、その他利害関係者からの対応及び信頼関係を構築居ていく。

財務については、年 2 回行われ監査が行われ、監査報告書を作成し適正に行っている。財務諸表を 5 月に行われる評議委員会、理事会で公表を行いその後はホームページにて広く一般に公表もしている。

⑦ 法令等の遵守に関する計画

個人情報については、本学園の特定個人情報取扱規定に則り、適正に保護対策が取られ、ネットワーク上のセキュリティ対策も行っている。また、各種文書の管理についても本学園の文書管理規定に則り適正に管理している。

本学園では、専修学校設置基準及び各種法令を遵守し、学校運営が適正に行われており、法令の改正等にあたっても素早く対処している。法令の遵守は全教職員とも当然の義務と認識しており、共通の認識として深く浸透している。

自己点検・評価や内部監査に基づき提案された問題点や改善点は、法令を遵守し早急に対応できる体制を確立している。また、自己点検・評価についてホームページにて好評を行っている。

（4） 施設の状況

所在地	施設名等	面積
群馬県前橋市石関町 136-1	群馬県美容専門学校　校舎 ウェディング・ホテル＆ツーリズム専門学校 校舎 アーツ サウンド ビジュアル専門学校　校舎	9,091.31 ㎡

Ⅲ．財務の概要

資金収支計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日

（単位：円）

収入の部	
科目	金額
学生生徒等納付金収入	315,379,000
手数料収入	5,806,200
補助金収入	9,475,000
付随事業・収益事業収入	441,627
受取利息・配当金収入	411
雑収入	8,175,809
前受金収入	256,350,000
その他の収入	119,780,063
資金収入調整勘定	△ 296,275,700
前年度繰越支払資金	556,281,746
収入の部合計	975,414,156

支出の部	
科目	金額
人件費支出	135,597,133
経費支出	89,545,091
施設関係支出	86,746,000
設備関係支出	0
資産運用支出	360,000
その他の支出	116,630,039
資金支出調整勘定	△ 3,063,406
翌年度繰越支払資金	549,599,299
支出の部合計	975,414,156

事業活動収支計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日

（単位：円）

		科目	金額
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	315,379,000
		手数料	5,806,200
		経常費等補助金	9,475,000
		付随事業収入	441,627
		雑収入	8,175,809
		教育活動収入計	339,277,636
	事業活動支出の部	人件費	135,957,133
		経費	137,751,842
		徴収不能額等	0
		教育活動支出計	273,708,975
		教育活動収支差額	65,568,661
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	411
		その他の教育活動外収入	0
		教育活動外収入計	411
	事業活動支出の部	借入金等利息	0
		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出計	0
		教育活動外収支差額	411
		経常収支差額	65,569,072
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0
		その他の特別収入	0
		特別収入計	0
	事業活動支出の部	資産処分差額	0
		その他の特別支出	0
		特別支出計	0
		特別収支差額	0
基本金組入前当年度収支差額			65,569,072
基本金組入額合計			△ 86,746,000
当年度収支差額			△ 21,176,928
前年度繰越収支差額			△ 942,702,553
基本金取崩額			0
翌年度繰越収支差額			△ 963,879,481
（参考）			
事業活動収入計（旧）帰属収入			339,278,047
事業活動支出計（旧）消費支出			273,708,975

貸借対照表

令和6年3月31日

（単位：円）

資産の部	
科目	金額
固定資産	1,657,413,520
流動資産	560,992,668
資産の部合計	2,218,406,188

負債の部	
科目	金額
固定負債	1,932,640
流動負債	327,762,501
負債の部合計	329,695,141
純資産の部	
科目	金額
基本金	2,852,590,528
繰越収支差額	△ 963,879,481
純資産の部合計	1,888,711,047
負債及び純資産の部合計	2,218,406,188

監 査 報 告 書

令和６年４月15日

学校法人　群馬県美容学園
理　事　会
評 議 員 会　御中

監　事　加藤一広　印
監　事　高橋祐子　印
監　事　大島和代　印

私たちは、学校法人群馬県美容学園の令和５年度（令和５年４月１日から令和６年３月31日まで）の学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況及び計算書類等、すなわち事業報告、資金収支計算書（人件費支出内訳表を含む）、事業活動収支計算書、貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。）及び財産目録について監査を行い、以下の通り報告いたします。

1　監査方法の概要

寄附行為（監事の職務）第15条に基づき、理事会、その他重要な会議に出席したほか、理事等から業務の執行の報告を聴取し、重要な決算書類等を閲覧し、設置されている学校において業務及び財産の状況を調査しました。

2　監査の結果

(1)会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、事業報告書、資金収支計算書（人件費支出内訳表を含む）、事業活動収支計算書、貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。）及び財産目録の記載と合致し、適法かつ正確に法人の収支状況及び財産状況を示していると認めます。

(2)学校法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は認められません。

以　上

令和６年５月27日

この監査報告書は、原本と相違ありません。
学校法人群馬県美容学園
理事長　松本　一郎

理事（役員）名簿

R6.6.1 時点

区分	氏名	任期 年月～年月	学外者
理事長	松本　一郎	令和 6.6 ～令和 9.6	○
副理事長	鈴木　浩二	〃	○
専務理事	金杉　幸彦	〃	○
理　事	石川　實	〃	○
	井上　和茂	〃	○
	長谷川　一二	〃	○
	下田　アイ子	〃	○
	大澤　芳雄	〃	○
	上岡　克明	〃	○
	大島　和代	〃	○
	新井　俊次	〃	○
	大島　三男	〃	○
	髙倉　美奈	〃	○
	堀口　達也	〃	○
	町田　仁一	〃	
	北村　洋子	〃	○